

SSKO

# つばさ

編集発行 厚木市手をつなぐ育成会  
会長 風間 陽子  
事務局 厚木市愛甲1-25-1  
山口 和子 宅  
TEL&FAX 046-247-5055

新しい未来に向けて

## 成人を祝う会

1月19日(日) ぼうさいの丘公園研修室にて、「成人を祝う会」を開催しました。

今年は、3名の新成人とご家族を皆でお祝いしました。

花束贈呈、会長からのお祝いの言葉(下記)のあと、お一人一人から一言ずつ20歳になった感想をいただきました。(後日改めて文章にまとめていただきました。→P2) スーツ姿の3人がとてもまぶしくてかっこよかったです。その後会食とプレゼント抽選会で盛り上がり、最後に皆で記念撮影をしました。



本日はO.Tさん、K.Uさん、Y.Kさん、成人おめでとうございます。そしてお父様、お母様、20年間大切に育ててこられた息子さんの成長を心からお祝い申し上げます。

ご両親がそそいで来られたあふれんばかりの愛情は、今立派に成長したことで十分にお返しができたことと思います。そして一番の親孝行はこれからの長い人生を皆さんがいきいきと笑顔で過ごしていくことだと思います。

今日、お祝いに参加して下さっている青年活動部の先輩方は成人された皆さんの10年先、20年先をこうしていきいきと楽しんで生活しています。

私たち育成会はこれからも皆さんが笑顔で生きていくお手伝いをしていきたいと思っています。一緒に楽しい思い出をたくさん作って行きましょう。

風間 陽子



★祝う会をしてもらって、嬉しかったです。これからもよろしくお祈りします。(O.T)

★息子の障がいがあったのは、3歳の健診後保健センターの紹介で大学病院へ検査を受け、先生から「広汎性発達障害」(数ヵ月後、自閉症)と診断されました。私と主人は、言葉を失ってしまいました。数ヵ月後、通園事業「ひよこ園」入園。当時は、泣き出したり、暴れてパニック状態の日々が続きました。

1年後、幼稚園(2年間)に慣れるのに時間がかかりましたが、子どもたちや先生たちの支援で運動会などのイベントに参加できました。その姿を見て目頭が熱くなりました。小学校ではクラスの子や先生達に「おはよう」の挨拶を手合わせの「ハイタッチ」を日課にしました。繰り返しているうちに視線を合わすようになりました。中学校、高校は養護学校へ通い、課題や作業などを取り組んでいました。高校卒業後、生活介護施設へ行っています。そこでは、委託の仕事や余暇を過ごしています。社会人として生き生きと過ごしてくれる事が、私たち家族の願いです。彼の成長を喜び、時には楽しませてくれます。家族力を合わせて今までと変わらずサポートしていきます。(母)



★1999年、僕は3278gとして生まれました。僕は4歳から電車が好きで、20年間ここまで育ててくれまして、ありがとうございます。今はメガネをかけて仕事をして頑張っています。(K.Y)

★この度は「成人を祝う会」にお招きいただき、本当にありがとうございました。沢山の方にお祝いして頂いた事、親子共々感謝しております。裕司は生まれてしばらくしてから表情は乏しくて体の力も弱く、何かあるのでは?・・・と漠然と感じていました。裕司が初めて話した単語は「あお」。小学校1年生の3学期でした。それまではお散歩の時など、私が作った写真や絵を載せたコミュニケーションブックもどき(?)を持ち歩き、サインも交えてよく2人でお話していたものです。「う～」と声を出しながらブックの写真や絵を指さし、サインを出しながら私に目で訴えて来る可愛らしい姿を、鮮明に覚えています。今ではよくしゃべり、力も強くなって大好きな電車で夢中な青年に成長しました。裕司が小さかった頃に使っていたコミュニケーションブックは、今でもお母さんの宝物です。当日は会に出席出来ずに残念でしたが、これからも変わらずあなたの幸せを願っていますよ。(母)



★11月で20歳になりました。大人になったので、少しずつ自分でできる事を増やしたいと思います。仕事も趣味も頑張ります。(Y.K)

★今回成人を迎え、育成会の皆さまには心のこもった素敵な会を開催していただきまして本当に感謝しています。20年前の生まれた頃を思い出しますと、胸が熱くなります。我が子は超早産、超未熟児の双子で2人ともいろいろハンディキャップがありました。ですが、いろいろ思い悩む暇もなく目の前のしなければならぬことを片付けていた感じです。

本当に無我夢中の20年間でした。

最近は時間も精神的にも少しゆとりができ、私自身の「楽しみ」を過ごす余裕も増えてきました。これからは子離れ親離れを少しずつ始めたいと思っています。(母)

## 青年活動部クリスマス会!

12/15(日)ぼうさいの丘公園講義室 AB にてクリスマス会を行いました。参加者は33名で今年も横浜から保育士さんが2人来て下さいました。

例年、午前中スポーツ教室をやり、午後からクリスマス会をやるのですが、今回はスポーツ教室で指導して下さいるインストラクターさんがご都合が悪くなり、急遽クリスマス会だけとなってしまいました。

準備から子供達にも手伝ってもらい、飾りつけは保育士さんにお任せ。



さすが保育士さんとても素敵な飾り付けが出来上がりました。参加者が全員揃うまでには時間がかかり、子供達を待たせてしまいましたが、保育士さん2人がゲーム等をして場を盛り上げて下さいました。

全員揃った所で、乾杯の音頭でクリスマス会スタートです。

先ずはお待ちかねの食事タイム。お弁当や、ケーキ、お菓子、ミカン等を食べ終わった頃、保育士さんがサンタに扮して子供達にプレゼントを配り、また保育士さん手作りのメダルを一人一人に手渡しして下さいました。



そのあとは、保育士さんが歌に合わせての手遊びや、手話、ゲーム等子供達参加型で楽しませて下さいました。

楽しい時間はあっという間に終わってしまいましたが、準備から片付けまで手伝って下さった皆さん有り難うございました。

令和2年も青年活動部では楽しい行事を用意して皆さんの参加をお待ちしています。



11月9日(土)市保健福祉センター6階ホールにて厚木市社会福祉大会が開かれました。手をつなぐ育成会からは中川孝子さんが厚木市社会福祉協議会会長表彰を受けました。

(知っているようで知らない) 親がついていけない時の

## わが子の外出どうしてる？



育成会のメンバーが集まると、たびたび出てくる話題です。

親の高齢化や仕事等の多忙化に伴い、この問題は切実となってきています。

このような時に育成会の会員達が最もよく利用しているのが、「移動支援」の福祉サービスです。

「移動支援」は各市町村で行っている事業です。種類は①社会生活上必要不可欠な外出介護支援、②余暇活動等社会参加のための外出介護支援です。例として①は官公庁や金融機関での申請等手続きや生活必需品の購入などの時に利用する場合で1ヶ月で最大35時間まで、②はレジャーやレクリエーション、行事参加などの時に利用する場合で1ヶ月で最大20時間までとなっています。①、②を併用利用した場合は最大40時間までです。

ところが、日頃一人で外出ができる自立度の高いお子さんは、移動支援の利用をされていない方も少なくありません。特に一般就労をしている場合には受けることのできる福祉サービス利用の機会を逸していることがあるようです。福祉サービスなど必要ないと思われるかもしれませんが、実際は役立つ場面もたくさんあります。

**例えば、育成会主催の行事のバス旅行については、障害の程度にかかわらず（日常生活において一人で行動できる場合でも）子ども一人につき付き添いが一人必要です。**バス旅行にお子さんお一人で申し込まれた場合、育成会の担当者が付き添ってもらえるガイドヘルパーやボランティアさんを探さなくてはなりません。もし移動支援のサービスを使って参加できればこの手間を省くことができます。

また移動支援はバス旅行以外の場面でもお子さんの行動範囲を広げたり新しいことにもチャレンジする機会を増やすことに繋がります。これまでのお子さんの生活を振り返り、このサービスについて考えてみてはどうでしょうか？移動支援の他にも利用できる福祉サービスはいくつかあります。利用の際には「サービス等利用計画」が必要になります。詳しくは市の障がい福祉課にご相談ください。

また今回は詳しく取り上げませんが、移動支援と同じようなサービスに「行動援護」があります。これは行動面に特別な配慮を要する人の外出を支援するもので、国の事業となります。サービスの内容も移動介助にとどまらず、危険回避や排泄および食事などの介護、衣服の着脱介助なども行います。利用するには専用の聞き取りがあり条件が必要になります。

さらに、移動支援と行動援護とは別に居宅介護(ホームヘルプ)の一つに「通院等介助」があります。これは医療機関への通院や福祉事業所の見学等の付き添いサービスで、こちらも国の事業となります。移動支援や行動援護とあわせて利用すれば、より多くのサービス時間を得ることができます。

令和2年度 厚木市手をつなぐ育成会総会のお知らせ  
令和2年4月28日(火)10時30分より アミューあつぎ601&602

発行所 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3丁目1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷102  
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価100円(会費に含まれています)